

広報紙

やすらぎ

令和4年 第21号
〔通算531号〕

3月号

社会福祉法人 小樽育成院
特別養護老人ホーム やすらぎ荘
広報委員会

今月のラインナップ

日頃のひとコマ(雪あかり・節分)
入居者さんに聞きました!「〇〇ランキング」
〔第2回〕なるほどユニットケア

ZOOMミーティング

施設長 田村 成人

当法人施設初めてとなる外国人介護職員の二人と、仕事の準備や日本語のスキルアップのため、定例ミーティングを行っています。家族のことや出身地、血液型、介護現場でよく使う言葉や普通の言葉、行ってみたくところや食べたい物などについて、日本語でやりとりしていますが、ZOOMを使用しているため、話すスピードや間の取り方、本当に理解できているのだろうかなど不安を

感じながら、毎回、悪戦苦闘しています。月1回、1時間程度のことですが、普段使っていない部位を使っているようで、終了した後は、ぐったりとなっています。ソーシャルネットワーク・サービス(SNS)の飛躍的進歩と在宅勤務やテレワークが急速に普及している状況に、時代の転機を強く感じています。皆さん方にZOOM面会をお願ひしている中、大変恐縮いたしております。

外国人介護職員の二人には、言葉にささなくて、目をみたり、表情をみるにより、相手の意図を読み取る(感じられる)という、日本の文化をわかってもらえたら良いと思っています。

2022年3月~4月のお知らせ

INFORMATION

インフォメーション

3月行事予定

- ・ 1日(火) 修祓式
- ・ 8日(火) 美容
- ・ 10日(木) 寿司の日
- ・ 23日(水) 理容

4月行事予定

- ・ 1日(金) 修祓式
- ・ 12日(火) 美容
- ・ 26日(火) 理容

※新型コロナウイルスの影響もあり、行事が変更になる可能性があります。

ユニットの季節が感じられる設え ひな祭り編

今年も、各ユニットの居間や玄関にて、ひな祭りの飾りつけが施されました。徐々に春の訪れを感じる今日この頃です。



外国人介護職員の入国手続き

オミクロン株の感染拡大によって実施された『日本の水際対策』が、3月1日から緩和されることになりました。1日当たりの入国者数上限が3500人から5000人に引き上げられ、ビジネス関係者や留学生などの入国が例外的に認められることになりました。

ただ、令和2年以降に在留資格の許可を受けながらも、未入国となっている外国人が40万人ほどいるため、やすらぎ荘に採用内定している二人の入国は、早くても**7月**になると見込んでいます。



社会福祉法人 小樽育成院
特別養護老人ホーム

やすらぎ荘

〒048-2671 小樽市オタモイ1丁目20番18号
電話/0134-28-2500 FAX/0134-26-2476

ホームページで、詳しい
情報をご覧いただけます

<http://www.otaru-ikuseiin.com/yasuragi>

小樽育成院やすらぎ荘 検索





入居者に聞きました

マルマルランキング

好きな食べ物ランキング



4位以下
イカの塩辛・いなり寿司・赤飯・カレーライス・チョコケーキ・海苔の佃煮・白米と梅干し・パン・みそ汁・数の子・果物

ランキングはお寿司が堂々の1位でした。3月10日の昼食にお寿司の提供を予定しているの、楽しみにされている方は多いかもしれませんね。今回、多くの皆様にお手伝いいただき、ありがとうございました。

入居者さんからお聞きしたこと

- 娘がつけた梅干しが一番好きだ。
- 食べ物はなんでも好き! 果物は甘いといいなあ。皮むくもの、バナナやみかんは面倒くさいなあ。イチゴが食べやすくて好きだ。
- お菓子は、なんでもうめえーし、アイスもうめえー! だらやき、まるまる1個おやつに出してくれたらうれしいなあ!
- 施設の食べ物なんでも好きだよ!

* 雪あかり *

共有スペースのペランダにユニットごとに雪だるまやスノーランタンを作成して、温かい甘酒を飲みながら、雪あかりの雰囲気を楽しんでいただきました。



昼から夜へ。美しく変化します



日頃のひとコマ



職員が鬼になりきって熱演!一緒に楽しみました



無病息災を願って、ユニットごとに豆まきを行いました。

2/3 節分の豆まき

第2回

なるほどユニットケア

ユニットケアの住まい

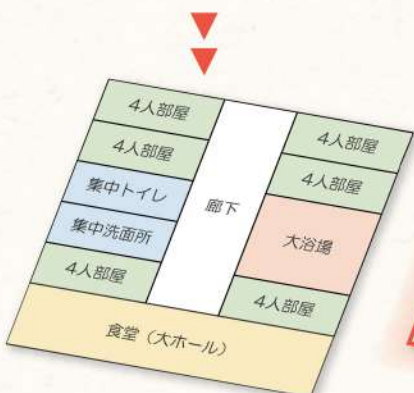
従来型の特別養護老人ホームは多床室を基本に、食事・排泄・入浴等の介護を一斉に行う仕組みとなっていました。

やすらぎ荘のユニットケアは10人前後を1つの単位として、10のユニットを設定することで、入居者一人ひとりの個性と生活リズムを尊重した「個別ケア」の推進を図っています。

●ユニット型施設のハード理論

従来型 一斉のつくり

多人数に対する集団ケア



ユニット型 個別のつくり

その人らしい生活が過ごせる個別ケア

